

— あなたの配慮が世界を変える —

# エシカル消費、はじめませんか



▲障害者支援施設 久喜けいわでの味噌作りの様子。1つひとつ丁寧に作られた「けいわ味噌」は、市内の学校給食にも使用されています。

## エシカル消費とは

最近、レジ袋を使用せずマイバッグを持ち歩いたり、フードロスを減らすため無駄なく食材を食べきるレシピを実践したりと、環境問題やエコ活動に関心が高まっています。そこで耳にする機会が増えたのが「SDGs」や「エシカル消費」。「エシカル」とは、直訳すると「倫理的・道徳的」という意味です。また、「エシカル消費」とは、日々の買い物や何かを消費する際に、「どこで作られているのか」「環境に配慮されているか」「売上げの一部が寄付されるか」など、人や社会、地域、環境に配慮して、モノやサービスを選ぶ行動をいいます。

## なぜ今、エシカル消費が必要なの？

私たちは日々、食べ物や衣類、水、電気、石油などさまざまなものを消費しています。でも、それらがどのように作られ、どのように運ばれてきたのかは、意識できていないことが多いの

CHECK

POINT 01

## エシカル消費とSDGs(持続可能な開発目標)との関係

12 つくる責任  
つかう責任



SDGsとは、貧困、紛争、テロ、気候変動など、さまざまな社会的課題の解決に向けて、「誰一人取り残さない」をキーワードに、世界中で2030年までに達成すべ

き17の目標を定めたものです。

エシカル消費は12番目の目標である「つくる責任 つかう責任」と関連しています。